



Canto

# デジタル資産管理プロジェクトを 効率的に計画し実行する方法 ～DAM最前線から学んだこと～

## DAM導入を成功させるために必須の4つのステップ

著者:Canto Inc.

翻訳:株式会社ヒューリンクス

<http://www.hulinks.co.jp/>

2015年9月

## この冊子で学べること

- はじめに
- サマリ
- ステップ
1. DAMに対する良い計画が必要
  2. どのように関係者を納得させるか
  3. どのようにDAMを実装するか
  4. どのようにDAMに命を吹きこむか
- 結論

DAMが必要であると結論が出たのですね。生産性の低下と、正しい画像を探す無駄な時間に疲れ果ててしまったのかもしれませんが。システムが互いに話をして、どこかの保存場所からコンテンツを抜き出してきてくれるようなものがほしい、と思うようになったのでしょうか。「タイム・イズ・マネー」であるということはみんな知っています。そして、それが企業にとってDAMが意味を持つ最大の理由です。いつでも、必要な場所から、デジタルワーカーが必要なファイルにアクセスできるのです。

## エンタープライズDAMを真剣に考える時期がきている

先見力のあるマーケターは、フォルダーと命名規則だけでは、これ以上効率を上げてくれることはないことに気づいています。企業が持つ大量のデジタル・コンテンツの山を管理するとき、ファイル共有ではコントロール不能で、ブランディングや柔軟性がありません。包括的なDAMソリューションは、アセットとプレビューのリストを提供する以上のものを提供するようになっています。エンタープライズDAMシステムは、メタデータ主導のプラットフォームで、効率的で、システム的なアプローチを使って、組織がデジタルアセットを管理することを実現します。オン・ザ・フライのファイル変換、画像のクロッピング、多言語サポート、ビデオ再生、バージョン管理、プライバシー管理、その他のことを考えてみてください。DAMは、必要なファイル形式でデジタル資産へのアクセスと配信を管理し、コラボレーションを促進するだけでなく、一か所で管理された方法を提供します。また、著作権侵害を避けるために重要なライセンスや著作権の契約に関する詳細を記録します。

このプレイブックは、デジタル資産管理プロジェクト成功に導く上で欠かすことのできない4つのステップを説明します。その4つとは、計画する、関係者を納得させる、DAMを実装する、DAMに命を吹き込む、です。

20年以上、世界中の著名なブランド、企業のいくつかのDAMプロジェクトを管理してきたプロフェッショナル・サービスから導かれたインサイトを提示します。「DAMシステムに何を期待しているのかを明確に定義できていますか?」「どのようにROIを計算しますか?」「実装の各段階で何を期待していますか?」のような重要な質問をどのように投げかけるかを示します。

この冊子の目的は、DAMプロジェクトを主導する方に、デジタル資産管理プロジェクトを整理し、計画するために必要なツールを提供することです。Canto社が市場をリードするDAMベンダーであり、販売パートナーがみなさんのプロジェクトを支援する事ができるということを自信を持ってお伝えします。

## DAMに向かって動き出します

どのようにDAMに着手しましょうか?「最初の段階をどのように計画するか」だけでなく、「関係者をどのように納得させるか」「完璧に実行し、プロジェクトを完了するか」を示します。このDAMプレイブックで、DAMを成功に導くための4つの証明されたステップをまとめました。



ステップ 1. DAMに対する良い計画が必要

ドイツには「良い計画を作ること、仕事の半分を終わったようなものだ」という言葉があります。これはとても単純なことのように思えますが、DAMの最初の計画を作るとは重要なステップで、強調してもし過ぎることはありません。計画がないということが、多くの会社でDAMが失敗する理由です。

### DAMプロジェクトを計画する上で、もっとも重要な質問は何ですか？

最も重要なことは、DAMプロジェクトで何を表現したいのか、その考えはどこから出てきたのか？ということを確認にすることです。

- ・目標と要求事項は何ですか？
- ・期限はいつですか？それは現実的ですか？
- ・予算はいくらですか？

他の質問はこの3つの基本的な質問から導かれます。例えば、

- ・すべての要求を本当に明確にしていますか？  
なにか曖昧になっているものはありますか？
- ・DAMシステムに対してよく要求される項目は、このプロジェクトの一部となっていますか？  
それはなぜですか？
- ・指定された期間と予算の制限内で、要求された品質でプロジェクトを完了するために必要なリソースは何ですか？

### どの程度まで同僚を巻き込まなければ ならないでしょうか？納得させなければ ならないのは誰でしょうか？

DAMプロジェクトの成功の鍵は、利害関係者とプロジェクトチームをうまく管理することです。プロジェクトを計画している人にとって、誰と一緒に仕事をしようとしているのか、周囲の人が何を必要とし、期待しているのかを知ることが必須です。何人かの人にとっては、事実関係よりは個人的な信頼関係が重要でしょう。また、別の人にとっては詳細が重要であり、より多くの情報



が重要かもしれません。これは主にプロフェッショナルな関係を表しています。DAMプロジェクトを計画するとき、「誰が意思決定者か」「いつがその発端だったのか」「誰が影響力を持つのか」「その人は、プロジェクトチーム内いるのか、外部の利害関係者なのか、あるいはそれ以外の人なのか」を自分に問いかけてください。

異なる文化、言語にまたがった環境で進行する場合、プロジェクト環境を十分にケアすることは特に重要です。違いに注意を払わないと、後で後悔を生むこととなります。

### 実際のプロジェクトを開始する前にクリアしておかなければならない技術的な質問は何ですか？

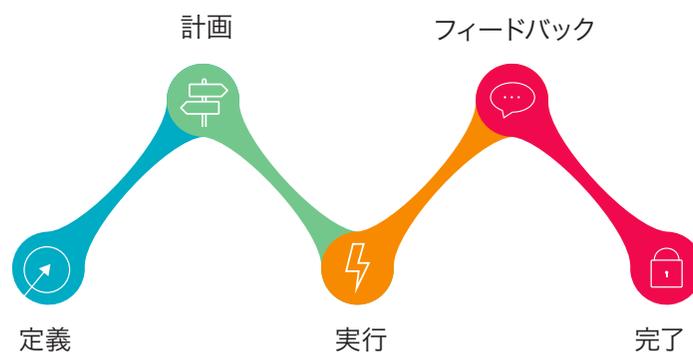
DAMプロジェクトにおいては、この質問はサーバーやストレージ、ネットワークの帯域などのリソースに関係するかもしれません。より複雑なシステム構成では、この質問は、CMSやERP、プロジェクト管理システムなどの関連するシステムとのインテグレーションAPIも含むかもしれません。理想は、こ

れらの設定上の質問はプロジェクトの初期に明確にされ、実行フェーズになるとすぐに、すべての人とすべてのものが準備ができているということになります。

### DAMプロジェクトの各ステップはどのようになりますか？

典型的なプロジェクトのステップは次のようになります。

- ・プロジェクトの定義
- ・計画作成
- ・実行とフィードバック
- ・プロジェクトの完了



定義と計画作成のフェーズがどれくらい重要かは強調しすぎることはありません。プロジェクトの完了のためには、技術的なセットアップを提供するだけでなく、DAMが全ての人のニーズを、できるだけ良い方法でサポートしていることを保証することが重要です。これは必然的に、良いプロジェクト管理とはどのようなものか、ということになります。

### DAMプロジェクトを計画し、実現するときに、よくあるミスは何ですか？ どのようにすればそのミスを回避できますか？

ほとんどすべてのプロジェクトにおいて、最も一般的で、おそらく最悪のミスは、何を実現したいかという正しい定義をせずにスタートしてしまうことです。DAMプロジェクトを実施しようとしている担当者にとって、確たる定義をせずに前に進むことは、成功を邪魔するものを生み出すことです。この重要なポイントを明確にすることは、プロジェクトマネージャーの仕事です。ゴールは、プロジェクトを潜在的に重くする不要な要求事項を特定し、取り除くことです。

## DAMシステムの導入とその保守に対する費用計画をする必要がありますか？

これはDAMシステムをどのようなシナリオで運用するか、それがどのような構成要素を持つかに依存します。必要とするシステムにおいて、ライセンス、ストレージ(インハウスのインフラとして、またはクラウドベースの容量)に対するコストを確定する必要があります。後で必要となる保守、サポート、コンサルティングに対する十分な予算も必要です。

平均的なDAMシステムにどの程度の費用が必要かを考えることは、Webサイトの構築に必要な費用を考えることと同じです。つまり、ピンからキリまでであるということです!DAMプロジェクトは非常に多くのシナリオで使うことができる、とても柔軟な技術です。コストに関する要素を洗い出すためにベンダーやDAMコンサルタントに相談することで、適切なサイズのDAMプロジェクトを計画できるようになります。

## オンプレミス・ソリューションとクラウド・ソリューションのどちらが必要ですか？

これは時間をかけて考えるべきでしょう。オンプレミス・ソリューションは企業内にITのすべてを保持したい人には魅力的です。クラウド・ソリューションはコストが全て透明で、ITリソースが限られた企業にはメリットがあります。あるいは、あなたの会社はハイブリッドなアプローチを求めているかもしれません。これは両方の世界の良い所を組み合わせたものです。どのシナリオが御社の要望を満たしているかはCantoのホワイトペーパー「[Understanding Cumulus Deployment Options: On Premise, Private Cloud and Hybrid Cloud \(英文／未訳\)](#)」を参照してください。

御社の目標が決まったら、計画と費用見積もりを作成します。そして、すべての利害関係者にこれを周知する必要があります。



オンプレミスDAM



クラウドDAM



ハイブリッドDAM

ステップ 2. どのように関係者を納得させるか

DAMへの戦略を成功するには、リーダーがDAMプロジェクトを成功に導くようにコミットすることから始まります。これは、ソフトウェア自体よりも、チェンジ・マネジメント、プロセス・モデリング、企業文化により大きく依存します。一般に、リーダーはコンテンツやブランドを統括するCスイート（CEO、COO、CMOなど）のレベルに相当する人であり、痛みはクリエイティブ部門、マーケティング部門のいたるところにでてきます。どのような場合も、組織内の関係者の納得や完全なサポートを得ることが鍵となります。しかし、最もチャレンジングな仕事は、DAMプロジェクトを管理することから生じます。

Cantoのプロジェクト・マネージャーでプロフェッショナル・サービス・チームの一員でもあるパトリック・ミッシェルは、「DAMプロジェクトの関係者をマネジメントすることが、知るべきことすべてだ」と話しています。

### 「なぜデジタル資産管理を必要としているか」を関係者に納得させることが重要なのですか？

関係者は大きな影響力を持ち、DAMプロジェクトを成功させる鍵となります。多くのB2Bソフトウェアのように、デジタル資産管理は単なる技術ではなく、毎日の業務に影響する技術です。そのため、プロジェクトに参加する人との関係は、DAMの技術的な側面と同じくらい重要なのです。

DAMプロジェクトに参加していない重要な関係者も、全体の進行を脅かす可能性があります。これらの人々のプロジェクト自体に対する懸念をうまく取り扱う必要があります。最終的には、オープンなコミュニケーションにより、全員がメリットを享受できるのです。適切な態度とサポートがないため、多くの場合、組織変革の達成が難しいのです。





### だれが当社における関係者でしょうか？

利害関係者を特定するには、新しいビジネスプロセスとDAMシステムによって、誰がメリットを受け、影響を受けるのかを自分自身に聞いてみることです。プロジェクトに興味を持っている人、それにより影響を受ける人は利害関係者です。予算に責任がある人は、心配する必要がある最も重要な人です。しかし、グラフィックアーティストも、利害関係者でありえます。彼らは意思決定者ではありませんが、DAMシステムが導入され、動作を開始すると、劇的にメリットを受けられる人達だからです。ユーザーに受け入れられることは、プロジェクトの成功に不可欠です。マーケター、フォトグラファー、グラフィックデザイナーも考慮に入れてください。エージェンシーやフリーランサーもDAMを使うかもしれません。

### 関係者にとってもっとも重要なことは何ですか？

関係者が知っている必要がある事項は、組織内のポジションとプロジェクト内の役割

に依存します。例えば、プロジェクト・マネージャーは、プロジェクトの成功がキャリア上で重要であるという関係者です。日々のユーザーは、これとは非常に違った興味を持っています。これらの人々の興味を特定することで、彼らの観点からプロジェクトを見ることができるようになります。

### DAMプロジェクトに関係者をいつ、どのように参加させるべきでしょうか？

関係者を参加させるタイミングは非常にシンプルです。デジタル資産をよりうまく管理したいというニーズは発生した時、つまりプロジェクトの最初のキックオフから、プロジェクトが完了し、すべての関係者が満足した時までです。

どのように、というのは簡単ではありません。人それぞれだからです。利害関係者の中の一人ずつを考える必要があります。彼らのパーソナリティや興味を考え、様々なソフトスキルを使って彼らを参加させることになります。

もっとも重要なことは、関係者をマネジメントすることは、関係者間の関係を分析することであるということです。関係者ごとに、2つのおなじ質問を繰り返すことで行うことができます。

### 最初の質問:

**プロジェクトに対する態度はどうか？  
ポジティブですか？ネガティブですか？**

関係者の態度を特定することが難しいことが、時々あります。プロジェクトについて考えていることを知るために、これらの人と直接話すか、幾つかの方法でコミュニケーションする必要があります。

### 2番目の質問:

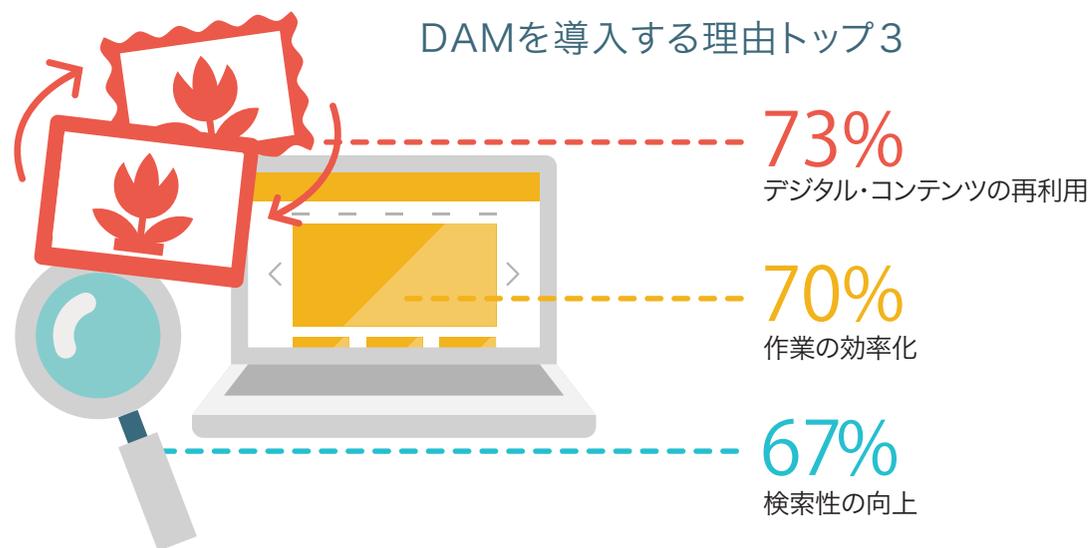
**その人の意見はプロセスの進行に  
どの程度重要ですか？**

誰かが社内で重要な役割を持ち、DAMプロジェクトに前向きである場合、彼らの地位が変わらないことを伝えるために、あらゆる努力を払う必要があります。プロジェクトに影響を与える重要な関係者に時間とエネルギーを費やすことは非常に重要です。

一般に、どのように懸念事項を表現するかは非常に個人に依存します。技術的な質問を持つIT部門の関係者がいる場合、彼らの必要とするものはより詳しい技術情報です。関係者が経営レベルであり、DAMプロジェクトが大きくコントロールを失うことを恐れている場合、より頻繁に情報を伝え、彼らが進行について把握できるようにします。

**単純な事実と数字、例えば、見積もったROIで関係者を納得させようと思います。DAMのメリットは何でしょうか？**

多くの場合、この目的で厳密な数字を得ようとするのは難しいです。この種の情報は、内部データに依存し、それはビジネスごとに違うからです。通常、プロジェクトの前に見積もられたメリットは、仮定に基づいています。



DAMを導入することで企業がメリットを享受し、経費を削減するには、主に2つの要素があります。技術リソースと時間です。最初の項目は、揺るぎないものです。どのようなサーバーがDAMシステムに必要なか、どのサーバーがもはや必要ないか、をプロジェクトの全体像から知ることができます。サーバーを動作させる必要がなくなることで、いくら削減できるかを見積もることは非常に簡単です。さらに、サーバーを保守するために必要な時間を削減することで何を節約できるか、などです。

もう1つのパラメーターである時間は、DAMによって最適化される作業の指標として使われます。例えば、20名の社員が、毎日2枚の画像を探していると仮定します。DAMを導入する前の検索に要する時間は5分だったとします。DAMを導入することで80%の時間が削減できたとすると、毎日3時間30分かかっていたものが、40分ですむようになったと計算することができます。毎日、3時間近くを節約し、他の優先順に

の高い業務に使うことができます。

同様の計算が、営業部門、エージェンシー、フィールドのスタッフのためのセルフサービスのデジタル資産の送信要求を処理するシステムでも適用できます。クリエイティブ部門やマーケティング部門の10名の社員が、毎日1つの要望されたファイルを探していると想定すると、1日で50分、他の仕事を中断する作業に時間をとられていることとなります。DAMがこれらの請求の90%を処理するようにすると、クリエイティブ作業やマーケティング作業を毎日1分中断するだけで済み、要望も減り、返信するまでの時間も短くなります。効率化できた時間を費用に換算すると、いくら削減できたかがわかります。実際の数字は環境に依存しますし、プロジェクトの様々なパラメーターを考えなければなりません。しかし、DAMのメリットは簡単に見積もることができると思います。もちろん、DAMシステムが提供する他のメリットも議論する必要があります。

### DAMシステムの他のメリットは何ですか？

DAMシステムがプロダクション環境にもたらす1つの大きなメリットは、デジタル・コンテンツのライセンスと著作権の管理です。適切に構成されていれば、DAMは保存された各画像、ビデオのライセンス情報を保存するだけでなく、使用制限のあるアセットの使用を管理することができます。例えば、使用期限、使用地域、表示が許された回数などです。

プライバシーの設定を使って、社員はプロジェクトのどのファイルを使うことができるかを知ることができます。これは著作権の侵害で訴えられる可能性を小さくするため、大幅な時間と費用の削減となります。デジタル著作権管理(DRM)は、Cスイートの大きな関心事であり、利害関係者との議論の対象となります。

**DAMの議論となった時、  
一般に関係者は何を懸念しますか？**

人々が変化に激しく抵抗することはよくあることです。これは人間の特性です。しかし、DAMはデジタル・コンテンツについての考えを変えることを要求します。

トレーニングやその他のミーティングにおいて、懸念事項について議論することは重要です。CantoのDAMコンサルタントは、これまで行ってきた方法でDAMを構成する方法を説明するアプローチを取ります。そうでなければ、より良い方法でそれを行う方法を示します。DAMプロジェクトはユーザーがデジタル・ファイルをより効率的に使うことを支援するものなのです。

**共有したい個人的な  
経験はありますか？**

利害関係者を巻き込み、納得させる場合、成功したストーリーを見つけることで解決することがあります。重要なファイルを失ってしまった、高価なコンテンツが失われた、よりひどい場合には著作権訴訟となったりした例は、納得させる以上となることもあります。DAMが本当に会社をサポートするものであることを関係者に証明できる似たような事例を探すことは、時間と費用を削減するでしょう。Cantoは様々なカスタマー・ストーリーやユースケースを提供しています。

ステップ 3. どのようにDAMを実装するか

DAMプロジェクトに対して青信号を得ることは重要なステップです。それも1つではありません。実装を成功させるために考えるべき重要な事項をいくつか説明します。

**DAMシステムを導入することに決定しました。実装プロセスをどこから始めればよいですか？**

DAMシステムの導入を決めた時、DAMプロジェクトのパートナーも決めなければなりません。

最初のステップはDAMコンサルタントに連絡することです。コンサルタントは自社の要求事項にしたがって、プロジェクト全体の概略を作成してくれるでしょう。もちろん、着手するには、社内の誰かに、関連する情報を収集し、内部でプロジェクトを管理する人が必要です。実装プロセスを始めようとするとき、どのデジタル・ファイルが関係するのか、どこでそれらが使われるのかを特定する必要があります。プロジェクト管理の常として、正確

に目標を設定することが非常に重要です。コンサルタントはそれにしたがってプロジェクトを展開してくるので、心配は無用です！

**DAMの実装を考えるときにどのようなこと(目標、プロセス、ユーザー、システム)を考えなければなりませんか？**

DAMプロジェクトは戦略的な目標によって決定されているとします。DAMを導入することで何を実現したいのですか？1つの例として、画像やグラフィックの制作をスピードアップしてマーケティングのワークフローを効率化するというものがあるでしょう。

または、セルフサービス・ポータルでファイルのリクエストを処理して、より簡単に印刷会社とファイルを共有したいというものもあるでしょう。

つまり、目標がわかったら、考えなければならぬプロセスが何かわかります。例として、マーケティングのワークフローを考えてみましょう。どのようにファイルを共有するか、ファイルをどのように使っているか、を考えてください。この場合、ユーザーを直接つ

なぎます。クリエイターは画像を制作し、マーケターは完成したものを必要とします。

これらのワークフローを考える場合、DAMをAdobeのツールとどのように統合するかを考えることになるでしょう。そうすればクリエイティブ・チームはより効率的になるからです。通常、これらのシステムとプロセスがどのようにメリットを生み出すかを調べるには、メディア・ファイルを扱うすべてのシステムとプロセスを考慮すべきです。

**Webサイトを管理するためにCMSを使っているとします。どのような実装をすればよいかを知る方法がありますか？**

これは運用方針に依存します。DAMの画像コレクションからメディア・ファイルを取り出し、CMSに接続したいかもしれません。頻繁に変更されるダイナミックなコンテンツがある場合には、ライブ画像キャッシングを使ったWebサイトを実装するのが妥当です。すべての実装はそれぞれで、固有のニーズに基づいています。

### 実装フェーズでは何が起きる可能性があり、誰と作業する必要がありますか？

最初のステップは、外部への影響を考えることです。実装するに当たり期限を設定していますか？どの機能が必要で、いつ必要ですか？ファイルの移行をするのはいつが適当ですか？鍵となるものは、これらの外部パラメーターに基づいて目標に優先順位をつけることです。

CMSをDAMシステムとインテグレーションする場合、フェーズ1では、これを行う可能性は高いです。フェーズ2では、重要性の低い他のDAM機能を議論することができます。トリックは、複雑なものを個別のステップに分解し、同時にプロジェクトのすべての部分を始めないことです。成功するDAMプロジェクトは優先順位を反映した良い構造を持ち、同時にあまりに多くのリソースを浪費しないことです。

### 組織内でDAMの導入についてコミュニケーションするもっともよい方法は何か？

2つのことをコミュニケーションする必要があります。まず、参加する全員にDAMを導入する理由を説明する必要があります。なぜあなたの会社がデジタル資産管理が必要なのか？それについてはできるだけ透明に。同時に、この導入がもたらす変化についても説明する必要があります。他の人はDAMを導入することでワークフローがどのように変わるのを知りたいでしょう。DAMを導入することは全員が協力して作業するときのみ成功するため、関係する全員の確認をとる必要があります。

もちろん、導入パートナーからの支援を得るべきです。DAM販売店は似たようなプロジェクトにおいて多くの経験を持っているはずで、ビジョンについて議論することを喜んで支援してくれるでしょう。特にプロジェクトがワークフローの最適化についてであるときは。

ビジュアルにすることも役に立ちます。文字中心のドキュメントも必要ですが、DAMプロジェクトの全体図を示すことはさらに強力





です。関係者がメッセージを明確に読み取ることができるためです。

### **全社員に対して個別のトレーニングをすることに意味がありますか？**

ワークフローの改善が目的であれば、トレーニングは非常に有効です。新しいDAMシステムを見た後、どのように業務を進めたいか、何がより望ましいかの議論を始めることができます。これは、既存のワークフローを根本的に違うものにするのではなく、どのように変更するかということの意味しています。結果として、既存のワークフローと新しいシステムとの調度良いミックスとなります。トレーニングはそのためにも有効です。新しい効率化されたワークフローに移行する間には、オープンなコミュニケーションを続けてください。

**チェンジ・マネジメントについて話しましょう。新しいワークフローとプロセスが、実際に使われるようにするにはどうすればよいですか？**

プロジェクトが本格的に展開し、必要な技術的なインフラが整っただけでは、DAMプロジェクトが完了したとはいえません。変化は毎日の作業に反映されなければなりません。関係者にDAMの導入の重要性を理解してもらうには、新しいDAM環境のメリットを理解し、同僚に広めることができる人を巻き込むことが大切です。

DAMチームに現場の経験を持つ通常のユーザーを入れ、ワークフローのモデルが現実的かを確認する必要があります。

DAMプロジェクトが、研究のために画像を使っている地質学者のチームのためのものだとしましょう。この場合、技術スタッフだけでなく、チームの他の人に変化についてコミュニケーションするために、地質学者の誰かにチームに参加して欲しいと考えるでしょう。日々の作業でDAMを使うと想定されるのが地質学者だからです。

### **DAMの導入にあたって、 どの程度の社内リソースを 確保すればよいのでしょうか？**

これは応えるのが難しい質問で、最善の回答は「コンサルタントがそれを見積もることを助けてくれるでしょう」となります。プロジェクトで何を実現したいのかが明確になるに従って、どの程度のリソースが必要になるかを見積もることが簡単になります。DAMを理解することは害になるものではありません。Cantoはプロジェクトに必要なリソースについて考えることを助けるコンテンツを用意しています。

プロジェクトに社員の時間を割り当てることの準備を始めてください。DAMプロジェクトを成功させるには、現在のワークフローに関係する問題を理解するために、多くの時間を使って準備することが必要です。また、誰を参加させるべきか、どのようなシステムを導入すべきかに関するインサイトを得ることも必要です。さらに、システムを社内にインストールすることを計画している場合には、クラ

ウドDAMとは違い、サーバーのような設備への投資も考慮する必要があります。

成功するDAMプロジェクトは、人的リソースと技術リソースのすべてが、ROIの観点からプラスとなることです。準備に時間をかけるほど、DAMから得られるものも多くなります。

### **DAMを実装するまでに時間がかかります。 現実的ではないかもしれない 関係者全員の期待をどのように 管理すればよいのでしょうか？**

良い計画を立て、良いコンサルタントとすすめることです。いつも！パートナーとのオープンで正直な関係を構築することが、最適な解決方法です。DAMのベンダーや販売店は、より多くの経験を持っており、現実的ではない期待からあなたを守ってくれるでしょう。これは、時々、「No」と応えることができないかもしれないということを意味しています。あまりに多くの要望があった時、コンサルタントは注意を促し、例えば、アイデアを実現するにはいくつかのフェーズに分けるよう

に提案するかもしれません。信頼できる人を探し、そのアドバイスを注意深く考えてみてください。そうすれば、DAMへの移行を成功させる方法を簡単に見つけることができます。



ステップ 4. どのようにDAMに命を吹きこむか

これはDAMプロジェクトにおいて非常に重要な質問です。これまでの経験では、それはすべてシステムで作業するユーザーに関するものです。DAMシステムの管理者は、エンドユーザーのフィードバックに耳を傾けなければなりません。「システムは皆さんが期待した通りに動いていますか？」と聞けるようにしてください。改善しなければならないかどうかのシグナルを受け取れるようにしてください。エンドユーザーからのフィードバックを集め、彼らのニーズを満たすシステムに改良していく必要があります。

簡単な例をあげましょう。DAMシステムを導入するとき、プロジェクトチームを作るべきです。このチームは要求事項を集め、ユーザーと会話することに責任を持ちます。時々、お客様が単に「DAMを買いたいのです」とだけ言われることがあるのですが、企業規模やシステムの複雑さに依存するため、実際

の導入には時間がかかることがあります。その間にも、フレームワークや、組み合わせ、作業プロセスが変わることがあります。

**ニーズがまだ変わらず、それらはDAMによって解決できるものであることを確認する必要があるのでしょうか？**

はい。ユーザーは、何ができるかがわかると、どのようにDAMを使うかについて全く新しいアイデアを思いつくことが多いからです。システムが何をすることができるのかを完全に理解した時にのみ、より多くの選択肢が実現可能になります。例えば、製品の画像を管理するためにシステムを購入したとします。これは正しいことではありますが、プレスリリースやメディアキットを保存し、配信する現在の方法が理想的ではなく、DAMがそれをうまく提供できると知ったらどうなるでしょうか。

システムを使っていると、DAMがもっと大きなポテンシャルを持っていることに気づき始めることもあります。

**ユーザーからのフィードバックをどのように集めたらよいのでしょうか？**

私達の経験では、定期的なワークショップがフィードバックを集める優れた方法です。毎月開催する必要はありませんが、四半期ごとのくらいが目安だと思います。ワークショップでは、ユーザーがDAMをどのように使っているかの感触を得ることができます。

一般に、このような大きなプロジェクトに対しては、各メンバーはそれぞれの期待を持っています。懐疑的な人もいるでしょうし、楽観的な人もいるでしょう。「すべての」人とオープンに話をし、全体像を把握してください。デジタル資産管理は大きな変化をもたらし、生産性を上げ、ワークフローを改善し、ユーザー・エクスペリエンスを大きく改善します。

**チェンジ・マネジメントについて話しているのでしょうか？**

そのとおりです。DAMが社内でフルに活用されるには、チェンジ・マネジメントを考えなければなりません。変化のプロセスは技

術的な側面と非技術的な側面の両方に影響します。一般に人間は、現状が手間がかかり、非効率でることがわかっているにもかかわらず、よく知っているものには快適さを感じ、証明されていないものには不安を感じます。

### チェンジ・マネジメントはどのようなものになりますか？

チェンジ・マネジメントとは、DAMプラットフォームを導入した結果、ユーザーをその変化の一部とすることを意味しています。定期的なワークショップにユーザーを参加させることは、組織に変化をもたらす鍵となります。変化を主導するものは、組織内から起こるだけでなく、外部からも起こることがあり、どちらもうまく整合させる必要があります。フィードバックを集め、それを実装します。もちろん、それがリーズナブルで、可能なかぎりとは。

### DAMプロジェクトのワークショップの重要性は何でしょうか？

これは非常に重要です。もちろん、Cantoのプロフェッショナル・サービス・チームやコン

サルタントは、最初からプロジェクトが成功するように努力します。しかし、お客様が「プロジェクトが成功したあとで、システムを使いたい」とだけ考えている状況を経験したことがあります。これは根本的に誤っています。システムが使われることを前提にしているからです。システムの導入と平行して、日常の使用からのフィードバックを集めることが標準的な手順でなければなりません。

いきなり技術的に完全なDAMシステムの場合を考えてみてください。その場合でも、導入後、1～2年経つとかなりのシステムが死んでいることになるでしょう。稼働後に取り組みなければならないと、最初に想定していた使い方についての問題があるからです。そして、その時になると、プロジェクト・マネージャーは優先順位が衝突するため、すべての問題に取り組む時間がありません。これは、複雑でプロフェッショナルなシステムでは致命的です。「今は問題なく動作している。これでOKだ」とは考えないことです。



### つまり、DAMは長期的な成功のみを意味しているのですか？

高価な機械を購入し、保守をしていなければ、突然それは壊れます。事前に投資をしなければならぬだけでなく、その投資を守らなければなりません。これが私達が「DAMプロジェクトは稼働開始後も終わることはありません」と話している理由です。

### DAMを整った状態で維持するにはどのようにすればよいでしょうか？

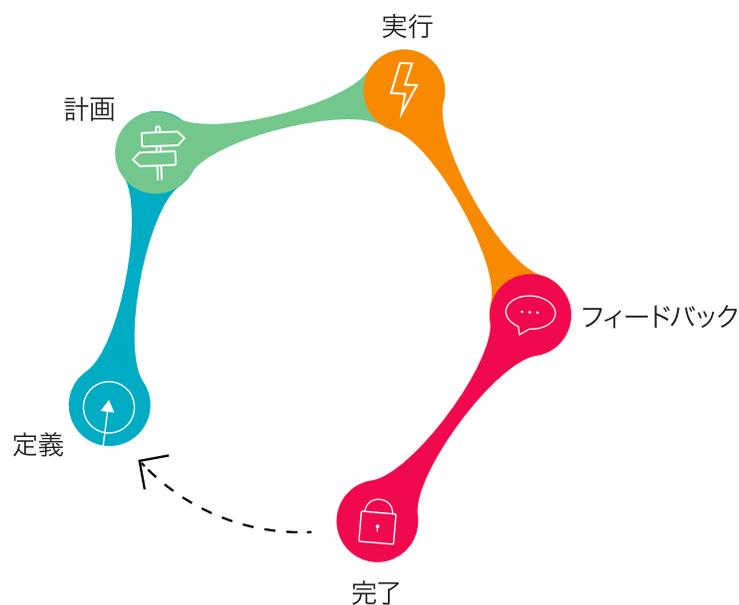
DAMシステムの全ライフサイクルにわたって非常に重要な事があります。システムの面倒を見る管理者が必要であるということです。システムを構築し、その後のケアをしないというのはうまくいきません。誰かがそれを見守り、何が起きているかを見ていなければなりません。同僚がランダムにデータを投入することは誰も望んでいないはずで、何らかの構造が必要なのです。

DAMに責任をもつということは、その開発も見守るということです。例えば、新しいプロ

ジェクト管理システムを導入するとき、次のように言えなければなりません。「オーケー。じゃあ、DAMとそのプロジェクト管理システムのインテグレーションも考える必要があるね」。そうすることで複数の目的をもって働いていることが実感できるでしょう。

### DAMのオーナーシップの役割は誰が担うべきでしょうか？

私達はこの人を「プロダクト・オーナー」と呼んでいます。責任の範囲は業務的なもの



と技術的なものの両方ですが、特にプロフェッショナル的なものです。この役割を誰が担うかは会社の規模によります。デジタルアセット管理者のポジションがすでにあるかもしれません。デジタルアセット管理者は、コンテンツ、システム構成、メタデータを管理します。したがって、この人がDAM管理者を兼ねるのは理にかなっています。

大企業では、各部門ごとに何人かのデジタルアセット管理者がいるかもしれません。DAMの責任者は、クリエイティブ部門かマーケティング部門に所属しているかもしれません。それでも、複数のシステムの開発に責任をもつ、中心となる「プロダクト・オーナー」を任命することがベストな方法です。

DAM導入は1つの部門から始まることです。そして、他の部門に発展していきます。目標は、大きな絵を念頭に置きながら、シナジーを得るチャンスを利用することです。

**DAMを維持していく上で、  
どのプロセスを常に念頭においておく  
必要がありますか？**

継続的に文書化し、ユーザーを教育し、変更についてコミュニケーションを行い、使用状況を分析することがベストです。これはいろいろな方法で行うことができます。四半期ごとや半期ごとに行っていくことをお勧めします。DAMで何か起きていないか、新しい要望はないか、に焦点をあてて行います。

あるお客様では、DAMにどのようなことが追加されたかを社員に知らせるためにニュースレターを毎月配信しています。このような活動は、DAMに呼吸をさせ続け、すべてのユーザーにとってシステムを役に立つものにするようになります。

おめでとうございます。あなたは現実のDAMプロジェクトでの何年もの経験から得た、最も重要な項目を学び終えました。私達が学んだレッスン全体が、皆様のDAM戦略の着手から実行、成功裏に完了する長い道のりを助けると信じています。DAMのゴールを達成し、それを超えるための、「ハウツー」などは定期的にCantoのブログをチェックしてください。デジタル資産管理について知りたいことにダイブするのであれば、その他のホワイトペーパーやオンラインのリソースを熟読してください。



# Cantoについて



Cumulusは、洗練されたメタデータ機能を犠牲にすることなく、DAMにおける最高のユーザー・エクスペリエンスを提供するものの1つです。Cumulusはカスタムのプログラムを開発することなく、様々な設定することができ、時間と費用を削減します。検索とフィルタリングの機能は、強力で、しかも高速です。Cumulusはインハウスでも、Cantoのクラウド基盤でも、あるいはAmazon S3やMicrosoft Azureとのインテグレーションを使ったハイブリッドの実装も可能です。

Cumulusは堅牢なAPIを持ち、サードパーティのアプリケーションと統合することで、効率的なデジタル・ワークフローを構築することができます。例えば、Adobe Creative Cloud、SharePoint、CMS (CoreMedia、FirstSpirit、Magnolia、Typo3、Drupal、WordPress)、プロジェクト管理(inMotion Now、Workfront)、ERP、マーケティング・オートメーションなどです。



## Cantoプロフェッショナル・サービス

CantoはDAM市場のパイオニアです。私たちはDAMは単なるシステム以上のものだということを知っています。お客様の挑戦、目標を理解するためのコンサルティングを提供し、正しい技術、プロセス、スキルの組み合わせを使って、DAMプロジェクトが成功をもたらすようにステップごとに一緒に作業をします。

# デジタル資産管理に取り組む準備はできましたか？

世界の何千ものブランド、企業がCantoのDAMサポートに信頼を寄せています。DAN戦略の立案から、ソフトウェアの開発まで、Cantoの連絡先は次のとおりです。

#CantoIsDAM

CantoのDAMではじめましょう。

+1 (415) 495-6545  
info@canto.com



## 南北アメリカ

116 New Montgomery Street  
Suite 810  
San Francisco, CA 94105  
USA  
Tel: +1 (415) 495-6545

## ヨーロッパ

Lietzenburger Str. 46  
10789 Berlin  
Germany  
Tel: +49 (0) 30 390 485-0

DAM Center of Excellence  
Friedrich-List-Str. 15  
35398 Giessen  
Germany

## 日本

株式会社ヒューリンクス  
(Canto Certified Distributor)  
東京都中央区日本橋箱崎町5-14  
Mail: soft.sales@hulinks.co.jp

## 著者と協力者／翻訳者



**Andreas Mockenhaupt**  
Director of Canto Professional Services,  
Canto



**Carsten Hoffmann**  
Lead Software Engineer,  
Canto



**Patrick Michel,**  
Project Manager  
Canto



**Benedict Mark**  
Lead Project Manager,  
Canto



**Leslie Weller**  
Director of Marketing,  
Canto

**【翻訳】**  
**若林 登**  
(Canto Certified  
Implementation Specialist)  
株式会社ヒューリンクス